チームけせんの和 だより

発行:陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田512-2（岩手県立高田病院内）

2025
vol.42
3月号

「チームけせんの和」によせて

医療法人勝久会
グループホーム金山
所　長　　佐々木　康裕

皆様、日頃から大変お世話になっております。様々な感染症が流行している中、日々、心身を削りながら精一杯業務にあたっているかと思います。私はグループホーム金山所長の佐々木康裕と申します。

少し我がホームの紹介をさせて頂きます。元々はグループホームつばき・りんごとして運営していましたが、平成30年の引っ越しを機にグループホーム金山として再始動しました。運営方針として、「ゆっくり」「一緒に」「楽しみながら」一人一人のその人らしさを大切とした生活を送る、ということを掲げています。つまり、利用者様を主役とし、私達は黒子として支え、生き生きとした人生を送って頂くのです。

主役、黒子といえば演劇が頭に浮かびますが、私はチームけせんの和の「劇団ばばば☆」の団長を仰せつかっております。「劇団ばばば☆」とは、医療、保健、福祉の専門家が集まり市民の皆様に演劇を通して健康増進を図る事を目的とした団体です。例えば、ケアマネジャー役は現職のケアマネジャーが行うという様に、実状に合った配役をすることで、よりリアリティのある内容をお届けしています。演技は勉強中ではありますが、専門職の集団ですので、質問があればスキルや知識を活かし、その場でお答え出来るのが最大の強みです。時には依頼先の地域の方を配役し、参加型にすることもあります。「塩を減らそう！」「転倒知らずは寝たきり知らず！」「健康長寿はお口から！」「薬は正しく使おう！」の４演目あり、要望があれば、市内外問わず馳せ参じる所存でありますので、ご依頼お待ちしています。DVD制作もしており、ご希望の方は地域包括支援センターや交流プラザにご相談下さい。陸前高田市立図書館でも貸出しています。

今後の活動継続、拡大の為にも、現団員の協力と、新団員の加入が大切です。熱意と情熱をもって一緒に劇団を盛り上げてくれる「芝居好き」を大募集しています。あなたの参加を待っています！！

活　動　報　告　令和６年度第３回研修会

テーマ　「いい人生だった」その一言のために
～地域で生き、地域で逝く人々を支える在宅医療・ケア～

日時：　令和7年2月23日（日）
場所：　陸前高田市コミュニティセンター　（シンガポールホール）　参加人数：172名
講師：　福井県おおい町国保名田庄診療所　所長　中村　伸一　氏

今回の研修会は、「チームけせんの和」令和6年度第3回研修会と在宅医療講演会として、市民の皆様も自由に参加、聴講できる研修となりました。

中村先生は「健康祭り」の開催を行なうなど地域医療にも貢献し、令和7年1月に日本医師会の第13回「赤ひげ大賞」も受賞され、地域医療のトップランナーとしてご活躍されています。

講演会では中村先生が勤務されている国保名田庄診療所の概要が話されました。

その後にジェスチャーを交えながら在宅医療・家での看取りの事例が紹介されました。

事例の中には患者さんの「桜の花を見たい」という思いに寄り添い、一緒に桜を見に出かけたり、かなわぬ時には診療所の前の桜の木の枝を1本折り患者宅に向かったこと等の紹介がありました。

講演中は思わず涙がこぼれる場面や笑いが飛び交う場面もあり地域医療の現状に触れることが出来ました。

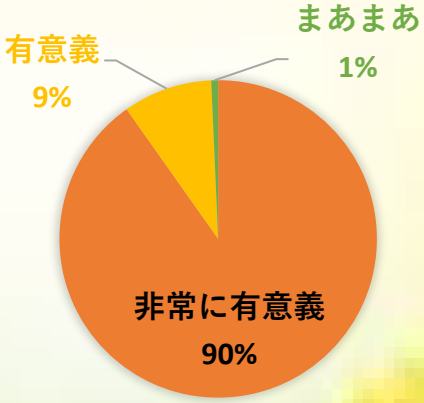
講演後は「素晴らしい講演だった」「わかりやすくて良かった」「楽しい講演だった」との声も多く聞かれ実りのある講演になりました。

最後に中村先生が好まれている「健康の定義」を紹介します。

健康とは「たとえ病気や障がいを持っていても、
いきいきと生きている、生きようとしている状態」

★アンケートより

参加してみて



数多くのアンケートの記入を頂きましたので、ごく一部を紹介させていただきます。

・多くの方の人生の物語が詰まった講演で心に響きました。必ずしも自宅でなくても、本人が大切にしていること、本人の希望が叶えられるように支え合える地域をつくれたらいいなと感じました。貴重な講演ありがとうございました。
・陸前高田市の在宅医療の現状がわからないと今後の不安は解消されないと思うので今後に役立つ情報の発信をよろしくお願いします。
・寝る時間も惜しんで在宅医療、訪問診療を続け奔走される中村先生。大変なことも笑いや達成感に換えての講演は、あっという間で前向きな気持ちになりました。二言目には「施設に入ったら」という先生が多い中、中村先生は素晴らしいです。明日からまた頑張れます。本当にありがとうございました。

活　動　報　告「ワーキンググループ報告」

令和６年度はワーキンググループを3つ結成し、各チームごとに活動を行ってきました。
今回は各チームの途中経過を報告致します。

グループ1「救急医療情報キット作成」

ワーキング１では救急医療情報用紙の作成と保管活用について昨年7月からメンバーで議論を重ね作り上げました。

このキットは救急要請時、自分で説明できない場合、駆け付けた救急隊員に必要な医療情報を伝えるための道具です。救急隊がより適切迅速な救急救命活動を行い、搬送先の医療機関も適切な初期対応をするために参考となるものです。12月から2月にかけて市内各医療機関、市消防、大船渡病院を含む関係諸機関へ説明し理解を頂きました。先行地区として矢作町の７５歳以上のみ世帯の方々に説明と配布をしました。

メンバー
リーダー：岩井直路（二又診療所）　サブリーダー：金野富（リボーン）
佐藤恵（高田病院）菊池一夫・吉田彩華（未来かなえ機構）
オブザーバー：伊藤章尋（市消防）蒲生紋子・熊谷質子（地域包括支援センター）

グループ２「ACPの普及について」

ワーキング２では、話し合いを重ねる中で下記について取り組むことに決定し、実践しました。

・ACPについて各自関連講座に参加し自主研修
・市民向け「人生会議」リーフレットを作成し、陸前高田市内全戸に配布
・もしバナゲーム体験会＆生きるノート作成講座の開催

講座に参加された方々からは、「良い経験ができた」、「講話もゲームもわかりやすかった」、「今後もやってほしい」などの声が寄せられました。

アンケート結果については後日お知らせします。

メンバー
リーダー：大和田剛史（広田歯科医院）
サブリーダー：佐々木康裕（グループホーム金山）
菅原由紀枝（高寿園）　佐藤涼子（SOMPOケア大船渡訪問看護ステーション）
村上博子（二又診療所）　オブザーバー：岩井直路（二又診療所）
大和田沙織・蒲生紋子・蒲生富美枝（地域包括支援センター）

グループ３「よりよい在宅医療のために市民向けパンフレット作成」

ワーキング3では職種ごとに自分の職種の役割、目指すもの等を書き出しパンフレットを作成しています。

更に具体的な事例をもとに在宅で受けられる医療・サービスを紹介しています。R7年5月完成を目指しています。

メンバー（グループ３では職種も掲載しました）
リーダー：吉田重之（吉田歯科医院 歯科医師）
サブリーダー：草別拓郎（リボーン 理学療法士）
佐々木裕紀重（きかわだ歯科クリニック 歯科衛生士）菅原由紀枝（高寿園 管理栄養士）
千葉祐志（社会福祉協議会 ケアマネジャー）　佐藤寿裕（リボーン 看護師）
大坂敏夫（気仙中央薬局 薬剤師）　金野友紀子（希望ヶ丘病院　社会福祉士）
オブザーバー：岩井直路（二又診療所医師）蒲生紋子・村上房子・松田真理子
（地域包括支援センター）

祝「劇団ばばば☆」結成10周年

活　動　報　告

令和6年12月10日（火）　午前10時～11時30分
場　所：　今泉地区コミュニティセンター　　参加者36名
演　題：「転倒予防」～ 転倒知らずは寝たきり知らず ～

劇団員の皆さんは、日々の仕事の合間に集まって練習を行い公演に臨みました。寸劇はテンポよく進み、理学療法士役の一本木さんの声がけで住民さんと一緒に簡単な転倒予防運動も行われました。
公演後、参加された方から「台詞を見ながらの劇は初めてだったが、いいものだ」との声も聞かれ、和やかに終わることが出来ました。

☆　地域包括支援センター　嶋村　明子　☆

昨年6月から地域包括支援センターでお世話になっております。ぶっつけ本番の中、還暦越えの私が孫役を演じさせていただきました。違和感がありすぎてすみませんでした。
恥ずかしながら私は、これまで全くと言っていいほど市の事業について理解できていませんでした。しかし、今回の参加を通じて、忙しい中多職種で1つの目標に向かい活動している皆さんを目の当たりにし圧倒されました。このエネルギーはきっと“明るい陸前高田”の未来につながると思います。期待を込めて!!

キャスト／スタッフ紹介

出 演

佐藤　松太郎	：	佐藤　隆
〃　マツ子	：	千葉　三和子
〃　敏郎	：	佐々木　康裕
〃　鮎美	：	熊谷　敬子
〃　ゆめ	：	嶋村　明子
医師	：	小林　里美
看護師	：	松田　真理子
栄養士	：	今野　誠菜
ケアマネージャー	：	中野　由香
理学療法士	：	一本木　大貴
ナレーター	：	熊谷　質子
黒子・拍子木	：	中野　信子
音 響	：	蒲生　富美枝
写真撮影	：	大友　重隆　蒲生　紋子

制作統括　：陸前高田の在宅療養を支える会

編集後記

今年度はワーキンググループの活動、研修会の開催、劇団ばばば☆の公演と沢山の会員の皆さんにご協力いただきました。本当にありがとうございました。
次年度も今年度同様に皆さんと陸前高田の在宅療養を支える会「チームけせんの和」の発展のために努力していきますので、よろしくお願いいたしますm(_ _)m